



地区インターアクト委員会

委員長 田中 啓之

(大東RC)

2007～2008年度RI第2660地区インターアクトクラブ年次大会が11月4日、四天王寺高校で開催されました。当日は横山GE,井上地区青少年奉仕部門顧問PG、6校のIACと提唱RCなど合計140名が参加しました。たまたま当日は若者たちの“ダメゼッタイ”麻薬覚せい剤乱用防止大阪大会と行事が重なり、8名の生徒たちが途中で別会場に移動して参加しました。

本会場では主に次の内容の活動報告と講演、および映画鑑賞が行われました。

1) 新入生歓迎会では能勢町の山奥で共同炊飯をしたり、相手を信じて行うゲームなどを通して初めて逢う人達が、話し合い打ち解けあう様子が報告されました。

2) 8月8日の海外研修では、香港のIACを38名のメンバーが訪問し、体育館でドッジボールをしたり、食堂でテーブルを一緒するなどして、生徒たちはしっかりした交流をしていました。

3) 8月24日には逆に香港からHOTUNGスクールのIAたち15名が来日し、我々は各校で手分けして受け入れの対応を行いました。金光八尾高校では、浴衣姿の茶華道部の生徒によるお茶や生け花の体験をし、みんな足の痺れを我慢して、興味深々で日本情緒を味わってお

りました。翌日は炎天下でしたが、大阪城見学と周辺の清掃を行い、タバコの吸殻などたくさん回収しました。続いて四天王寺へ移動し案内の僧侶より親切でなが～い説明を受ける頃は、さすがにみんなグロッキーでした。ご苦労様でした。夕食会は元気を取り戻した若者たちがプレゼントの交換や会話に夢中でした。きらきらした目つきも印象的でした。

4) ここまで活動報告のあと異色のOL映画監督脚本家の安田真奈さんの体験講演と、映画“幸福のスイッチ”を観賞しました。小さな電気店の頑固親父に反発していた娘が、父親の思いと家族の絆に気づき成長していく物語で、主人公の心が次第に心豊かになっていく様子に共感する生徒も多かったと思います。

ご挨拶やご講評でも若者たちへの期待と励ましの言葉がございました。どうぞ今後ともインターアクトクラブへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

このように有意義な年次大会を企画運営いただきました四天王寺高校中学校の皆様、大阪阪南RCの皆様、大変お世話様でした。感謝申し上げます。

